

平成29年度 石狩市教育委員会会議（11月定例会）会議録

平成29年11月16日（木）

開会 13時30分

第2委員会室

○委員の出欠状況

委員氏名	出席	欠席	備考
教育長 鎌田英暢	○		
委員 門馬富士子	○		教育長職務代理
委員 松尾拓也	○		
委員 山本由美子	○		
委員 永山隆繁	○		

○会議出席者

役職名	氏名
生涯学習部長	佐々木 隆 哉
生涯学習部次長（教育指導担当）	松 井 卓
生涯学習部次長（社会教育担当）	東 信 也
総務企画課長	安 崎 克 仁
学校教育課長	佐々木 宏 嘉
文化財課長	工 藤 義 衛
厚田生涯学習課長	田 村 和 人
教育支援センター長	開 発 克 久
特別支援教育担当課長	森 朋 代
市民図書館副館長	清 水 千 晴
学校給食センター長	小 島 工
生涯学習部参事（指導担当）	照 山 秀 一
総務企画課主幹	松 永 実
総務企画課総務企画担当主査	古 屋 昇 一

議事日程

日程第 1 署名委員の指名

日程第 2 議案審議

議案第 1 号 平成 29 年度一般会計予算（第 7 号補正）について

議案第 2 号 指定管理者の指定の件について

議案第 3 号 平成 29 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版
結果報告書」への市町村別結果の掲載に係る同意について

日程第 3 教育長報告

日程第 4 協議事項

- ① 平成30年度教育委員会予算要求について

日程第 5 報告事項

- ① 平成29年度全国学力・学習状況調査結果について
- ② 平成30年度石狩市成人式について（開催案）
- ③ 土曜授業の実施について
- ④ 学校閉庁日の設定について

日程第 6 その他

日程第 7 次回定例会の開催について

開会宣言

（鎌田教育長）ただ今から、平成 29 年度教育委員会会議 11 月定例会を開会します。

日程第 1 会議録署名委員の指名

（鎌田教育長）日程第 1 会議録署名委員の指名ですが、永山委員にお願いし

ます。

日程第 2 議案審議

(鎌田教育長) 日程第 2 議案審議を議題とします。

議案第 1 号 平成 29 年度一般会計予算 (第 7 号補正) について 及び、 議案第 2 号 指定管理者の指定の件について を非公開とする件

(鎌田教育長) 議案第 1 号「平成 29 年度一般会計予算 (第 7 号補正) について」及び議案第 2 号「指定管理者の指定の件」については、石狩市教育委員会会議規則第 15 条第 1 項第 4 号に該当しますので、非公開案件として、後ほど審議したいと思いますが、ご異議ありませんか。

異議なし

(鎌田教育長) ご異議なしと認め、非公開とすることに決定しました。

議案第 3 号 平成 29 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に係る同意について

(鎌田教育長) 次に、議案第 3 号「平成 29 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査『北海道版結果報告書』への市町村別結果の掲載に係る同意について」、事務局から提案願います。

(佐々木生涯学習部長) 議案第 3 号「平成 29 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査『北海道版結果報告書』への市町村別結果の掲載に係る同意について」ですが、以前ご審議いただきました全国学力・学習状況調査と同様に、道教委が作成する北海道版結果報告書に市町村名を明らかにして本市の結果を掲載することについての同意を求められています。詳細につきましては照山指導担当参事からご説明いたします。

(照山指導担当参事) 私から、「平成 29 年度全国体力・運動能力、運動習慣等

調査『北海道版結果報告書』への市町村別結果の掲載に係る同意について」説明します。本件は、国が定めた「平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領」において、教育委員会や学校が保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要であると明記されるとともに、都道府県教育委員会は、域内の市町村教育委員会の同意を得た場合には、当該市町村名または当該市町村教育委員会が設置管理する学校名を明らかにした公表を行うことができるかとされております。北海道教育委員会ではこの実施要領に基づき、きめ細かく分かりやすい調査結果を示す観点から、市町村教育委員会の同意を前提として、2月を目処に公表を予定しております「北海道版結果報告書」に市町村の結果を掲載し公表する準備を進めております。つきましては、実施要領に基づき石狩市の結果を北海道版結果報告書に掲載することを同意しようとするものでございます。以上、宜しくご審議のほどお願い申し上げます。

(鎌田教育長) ただ今、事務局から提案説明のありました議案第3号につきまして、ご質問等はありませんか。

(松尾委員) 今回は同意をして、石狩市のデータに関しては2月頃に出てくるということですね。例年実施していることなので、調査内容が大きく変わらないのであれば、今後は議案ではなく報告という形で進めていただければいいのではないのでしょうか。

(佐々木生涯学習部長) これについて道教委では、教育委員会会議に諮るのも良いですし、教育長判断でも良いという取扱いをしております。これまで教育委員会会議にお諮りしていたのは、初年度の調査時に慎重に審議することを第一としていたものと思っておりますが、これまで回を重ねてパターンも決まってきておりますので、今の教育委員会の事務委任規則に照らしても議案とする必要はないのかなと認識しております。

(鎌田教育長) 部長の説明にありましたように、次回からは教育長が判断し、決定したということで取り進めたいと思いますが、もう一つ全国学力・学習状況調査も同じように北海道版結果報告書への掲載に係る同意が求められていますので、これも同じ取扱いでよろしいでしょうか。内容については、都度報告という形で綿密に報告させていただきますので、宜しくお願いします。

(門馬委員、松尾委員、山本委員、永山委員 了承)

(鎌田教育長) 他にございませんか。

質問なし

(鎌田教育長) 他に質疑等がないようですので、議案第3号については、原案どおり可決ということでよろしいでしょうか。

異議なし

(鎌田教育長) ご異議なしと認め、議案第3号については、原案どおり可決しました。

日程第3 教育長報告

(鎌田教育長) 次に、日程第3 教育長報告を議題とします。11月定例会での教育長報告につきましては、お配りしております資料をご覧いただきまして、報告に代えさせていただきたいと思っております。ご質問等ありますか。

(門馬委員) 11月1日に知床ウトロ学校を視察しましたという報告がありますが、これは教育長ご自身が行かれたのですか。

(鎌田教育長) 私ではなく、松永総務企画課主幹が行っておりますので報告します。

(松永総務企画課主幹) 私から知床ウトロ学校の視察について報告します。記載のとおり11月1日と2日にわたり視察に行ってきましたが、今年度、道教委の指定事業ということで、ふるさと教育・観光教育等推進事業というのと北海道学力向上小中一貫推進事業の研究指定校ということで2日の日に公開研究会が開催されることから、厚田中学校の2名の教職員と1名の事務職員とともに視察に行ってきました。知床ウトロ学校は大正6年の開校ということで今年100周年を迎える学校です。これまで近隣の学校と統合を重ねながら、戦後は小中併置校ということで歩まれた学校で、今の校舎が平成14年に建設された校舎でした。昨年、視察に行きました中標津町の計根別学園とともに、道内で最初の義務教育学校ということで昨年4月にスタートした学校です。子ども達の数は1年生から9年生まで現在74名、教職員は校長1名、総括教頭・教頭・主幹教

諭が各1名、一般教諭17名、養護教諭1名、事務職員2名、公務補1名という配置体制で、管理職を除く平均年齢が33歳という職員構成で、若い先生が多いなという印象がありました。研究会の前日に、校長先生から具体的な教育活動について伺う時間を頂きまして、いくつかご紹介したいと思います。まず義務教育学校9年間の学年割については、前期6年、後期3年の教育課程を保ちつつ4・3・2の学年割で、これをブロックと呼んでおり、1年生から4年生まで1・4ブロック、5・7ブロック、8・9ブロックの3ブロックということで、一般の先生は各ブロックに配属して小学校、中学校の垣根を感じることなく子ども達の指導をされているということでした。次に、教科担任制についてですが、段階的に3年生から音楽、図工、理科を、5年生から保健・体育と家庭科、6年生から全教科を導入しているということでした。今年度から基軸となる教科を英語ということで、1年生から9年生まで系統的な指導計画を立てて、英語の担当教員とALT、前期課程では担任の先生も加わって取り組まれているということでした。英検の取得目標を9か年で立てられていて、7年生で英検5級、8年生で4級、9年生で卒業する段階で3級以上を取得する目標を立てているということでした。この指導計画については、世界遺産の知床エリアということで年々増加している外国人観光客の対応を求められているなかで、保護者から子ども達に英語をマスターできるという期待を持っていただいていることから、非常に評判がいいということをお聞きしました。普通の小中学校で云われている中1ギャップの解消についてですが、現実、知床ウトロ学校ではないということでしたが、後期課程のステップで5年生から50分授業、6年生から定期テストを一部導入して、スムーズに後期課程に移行できるよう取組が行われているということでした。このほかに特色ある教育活動ということで「知床学習」という名前で、1・2年生は生活科で、3年生から9年生は総合学習のなかで地域学習とキャリア教育の9年間のカリキュラムが組み立てられていて、ふるさと知床で生活する人、自然、森と海、歴史、産業、観光などの視点から学んで、8年生から9年生の残りの2年間で「知床のために私たちはなにができるのか」をテーマに、ボランティア活動や職場体験などを行う学習プログラムが展開されているということでした。また、これらの取組の一方で、義務教育学校として1年半経過して、いくつか課題も見えてきたこともあり、見直しを図らなければならない点もあるとのことでした。その1点目は、学校の教育目標についてです。総括目標ということで、「たくましく未来を築くウトロの子」という目標を設定しているほかに、具体目標ということで前期課程と後期課程、それぞれ4つの目標を立てられ、さらにその下に9年間の課程が終わった時の15歳の子ども達の姿を「15歳の創造」という目標とし、さらに4つの15歳の子ども像の目標を設定していることについて、掲げている数が多くて、

先生も子ども達も保護者も全部覚えられない状況なので、これをもう少し絞り込んだ形で、みんなが意識できる目標にしたいと話されていました。次に2点目は、4・3・2のブロックで、真ん中の「3」のブロックの5～7年生の活動について、6年生のリーダーシップを発揮できる機会が少ないので苦慮していることと、制服の部分で5～7年生のブロックの中で1学年だけ制服を着ているということもあって、ブロックとしての学校生活の中で一体感を見出すのに少々苦慮していると話されていました。課題の3点目は、先ほど触れた「知床学習」の活動内容について、若干マンネリ化してきているところがあるので、その取組について改善策を検討しなければならないと話されていました。これらについては、今、厚田の義務教育学校の開校に向けて学校設立準備委員会の教育課程部会が活動を始められているところですが、実情の部分で制服の件など含めて、今後、先生方による分科会や関係校長との協議などで詰めていかなくてはならないことも含めまして、とても参考になるお話を聞くことができたと思っております。あと、若い先生が多いという印象につながる部分ですが、中学校免許を持っている先生が前期課程の授業に乗り入れて指導することの負担感や抵抗感などが払拭されていて、授業だけでなく学芸会、運動会などの学校行事に向けた準備等、指導の場面においても積極的に低学年の子ども達と係りを持ってコミュニケーションを大事にしていると伺って、先生方の意識がうまく変容しているという感想を持ちました。私からは以上です。

(門馬委員) 報告ありがとうございました。わかりました。

(鎌田教育長) 他にございませんか。

(松尾委員) 2点あります。1点目は、10月27日に日体協日本スポーツマスターズ委員会委員長表敬訪問について、2点目は、11月14日に食物アレルギー対応給食の提供に係る保護者説明会について、当日の様子などを教えていただければと思います。

(鎌田教育長) 1点目についてですが、来年9月に日本マスターズ札幌大会が行われることになっており、その周辺会場として石狩市も実施種目としてソフトボールと軟式野球が決まっている関係で、日本スポーツマスターズの委員会の委員長が表敬訪問されました。市長も副市長も不在だったので、私の方で対応させていただいたものです。

(小島学校給食センター長) 私の方から、食物アレルギー対応給食の提供に係

る説明会について説明させていただきます。一昨日、花川南コミセンで開催させていただきました。学校関係者1名、保護者8名の参加でありました。先月の定例会でご説明させていただきましたアレルギー対応給食の提供方針を説明し、そのほかに対象となる児童生徒には、学校生活管理基指導表の提出が必要になりますということを説明しまして、保護者の方からは概ね了解いただいたものと考えております。私からは以上です。

(鎌田教育長) 他にございませんか。

質問なし

(鎌田教育長) 他に質問等がないようですので、教育長報告について、了承ということでよろしいでしょうか。

異議なし

(鎌田教育長) ご異議なしと認め、教育長報告について了承をいただきました。以上で、日程第3 教育長報告を終了します。

日程第4 協議事項

(鎌田教育長) 次に、日程第4 協議事項を議題とします。

協議事項① 平成30年度教育委員会予算要求について

(鎌田教育長) 協議事項の①「平成30年度教育委員会予算要求について」は、石狩市教育委員会会議規則第15条第1項第4号に該当しますので、非公開案件として、後ほど協議したいと思いますが、ご異議ありませんか。

異議なし

(鎌田教育長) ご異議なしと認め、非公開とすることに決定しました。

日程第5 報告事項

(鎌田教育長) 次に、日程第5 報告事項を議題とします。

報告事項① 平成29年度全国学力・学習状況調査結果について

(鎌田教育長) 報告事項の①「平成29年度全国学力・学習状況調査結果について」事務局から説明をお願いします。

(照山指導担当参事) 私から、平成29年度全国学力・学習状況調査結果の概要についてご説明します。別冊資料の2ページをご覧ください。全国学力・学習状況調査は3つの目的で行われております。1点目は、義務教育の機会均等とその水準維持するため、学力や学習状況を把握し教育施策の成果と課題を検証し、改善を図ること。2点目は、検証改善サイクルを確立すること。3点目は、児童生徒の指導・改善に役立てるということとございます。本年度は、平成29年4月18日(火)に市内の小学校13校の6年生、中学校8校の3年生を対象に実施されました。調査内容は、児童生徒を対象とした国語、算数・数学の学力調査と、児童生徒と学校を対象とした、家庭での生活習慣や学習習慣をアンケート形式で聞く学習状況調査が行われました。冊子の1ページをご覧ください。こちらのほうには、今年度の概要を記載しております。次に資料3ページをご覧ください。本年度、市内全校の学力調査の平均正答率は、小学校・中学校とも全国平均を下回りました。3ページの昨年度と比較すると小学校の国語では、国語Aで全国との差は広がり、国語Bでは全国との差が縮まっております。次に6ページです。小学校算数です、算数Aでは全国との差が縮まっており、算数Bで差は広がりました。中学校については9ページから記載しておりますが、全ての科目で昨年度よりも向上が見られております。資料にはございませんが、学校毎の結果で見ますと全科目平均が全国を上回る結果となった学校は小学校13校中6校、中学校8校中5校でした。また、学校によっては全国平均との差を縮め、各教科・領域で大きく伸びた学校もありました。このように学校別に見ると改善傾向が見られますが、全国平均に届いていない状況にあることから、市教委では学校、家庭、地域の連携した取組により、子どもたちの学力をより一層発揮させる必要があると受け止めています。また本調査では、家庭での生活習慣や学習習慣についての「学習状況調査」も行われております。その結果につきましては17ページ以降に記載しております。まず、21ページの児童・生徒質問紙の結果では、「家で学校の授業の復習をしている」と回答した割合は全

国平均を上回っております。しかしながら、20 ページの「家庭での勉強時間」をみると「小学生で1日1時間以上」、「中学生で2時間以上」と回答した割合は全国平均を下回っています。18 ページになりますが、平日（月～金）に、3時間以上「ゲームをする」「テレビやビデオ・DVD見たり聞いたりする」「携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする」と答えた小・中学生の割合は、依然として全国平均を大きく上回り、昨年と比較しても増加傾向にあります。このように、家庭生活における学習時間とのゲーム、インターネット等の時間の使い方は大きな課題であると捕らえております。28 ページですが「礼儀よく落ち着いた授業態度」「私語が少なく落ち着いている」など、落ち着いて生活・学習に取り組んでいる様子もうかがえます。34・35 ページからの、学校に対しての質問紙の結果では「家庭学習の課題を与える」「保護者への啓発」「教職員間の共通理解」など家庭学習の定着に向けた学校の取組は全国平均を上回りました。さらに、35 ページからの地域との連携した取組を見ると近隣の小中学校で、指導内容や方法の連携、学校支援ボランティアとして受け入れるなど、地域の保護者の方と連携して学校の教育力を向上させている取組の様子が見られました。この冊子には、それぞれ調査結果の概要を記載しておりますので、ご覧になってください。本市では、この調査の他に、市独自に市内全校で実施しております「CRT検査」の調査結果も踏まえ、各学校での取組の改善に取り組んでおります。教育委員会としては今回の結果とともに、これまでの取組の成果と課題を総合的に勘案し、今後の改善に向けた取組を各学校と連携し進めてまいりたいと思っております。以上でございます。

（鎌田教育長）ただ今、事務局から説明がありましたが、この件について、ご質問等ありませんか。

（永山委員）家庭での生活時間について、保護者に対して一日あたり、このように過ごしたらというような指針は出されているのですか。

（照山指導担当参事）市としては指針というものは示しておりませんが、各学校ではPTAだより等で示している学校もあります。また、家での学習時間、そしてスマートフォン、テレビ、ゲームの時間、などの時間の使い方については、PTAとも連携して「いしかりふれあいデー」という、一日の生活を見直す日を作って、それぞれの学校で呼び掛けているところです。

（松尾委員）このような調査になると、どうしても全国と比べてどうだった、全道と比べてどうだったと目がいってしまうわけなんですけれども、それも必

要な観点だと思いますが、毎年母集団が変わっていくわけですから、その子ども達がどれだけ学校に入って力をつけてきていることかということが、より重要なのかなと気が私はしているのですけれども、例えば市独自で行っているCRT検査について、今回の対象となった学年の子ども達に関して、どういった傾向があるのか、教えていただければと思います。

(照山指導担当参事) 松尾委員からのご質問にお答えします。CRT学力検査を、小学校1年生から中学校2年生までを対象に毎年2月に行っており、経年で追跡調査をしております。今回の中学校3年生について、小学校1年生時からの経過を見ますと、小学校からよく努力しているという結果でございます。どの学年も多少の差はありますが小学校1年生から中学校3年生にかけて上昇が見られます。ただ、学年によっては若干、時には沈む時期もありますが、全体的に見ると上昇してきているという状態が見られます。

(松尾委員) わかりました。

(教育長) 他にございませんか。

質問なし

(鎌田教育長) 他に質問等がないようですので、報告事項①を了解ということでよろしいでしょうか。

異議なし

(鎌田教育長) ご異議なしと認め、報告事項①を了解しました。

報告事項② 平成30年石狩市成人式について

(鎌田教育長) 次に、報告事項の②「平成30年石狩市成人式について」、事務局から説明をお願いします。

(東社会教育担当次長) 私から平成30年石狩市成人式についてご説明をいたします。資料6ページをご覧ください。(以下、資料に基づき説明した。)

(鎌田教育長) ただ今、事務局より説明がありましたが、この件について、ご

質問等ありませんか。

質問なし

(鎌田教育長) 質問等がないようですので、報告事項②を了解ということでもよろしいでしょうか。

異議なし

(鎌田教育長) ご異議なしと認め、報告事項②を了解しました。

報告事項③ 土曜授業の実施について

(鎌田教育長) 次に、報告事項の③「土曜授業の実施について」、事務局より説明をお願いします。

(照山指導担当参事) 私から平成30年度からの「土曜授業」の実施(案)について報告いたします。資料の7・8ページをご覧ください。小・中学校で授業時数を確保し学力向上に資するため、平成30年度より土曜授業を実施可能とする方針を教育委員会として示すこととしました。平成14年に実施された学校週5日制ですが、近年、授業時数の増加や地域に開かれた学校づくりへの対応から、土曜授業を実施している学校が増えてきております。石狩市としては、これまで「土曜授業」を行っておりませんでした。新しい学習指導要領では小学校での外国語の教科化により、年間授業時数を増やすことが求められております。しかしながら、平日の授業のみで対応することは放課後の時間も短くなり、子ども達と教師がゆっくりと話す時間も少なくなってくるなど、児童・生徒や教師の負担の増加も懸念されます。このようなことから、各学校において各教科等の教育活動を適切に実施するために必要な年間授業時数を確保し、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、活用させる指導を充実させるために、市内小中学校において、記載の内容を基準として「土曜授業」を実施できるものとするものでございます。以上、平成30年度からの市立小中学校の土曜授業についての説明を終わります。

(鎌田教育長) ただ今、事務局よりこの件について説明がありましたが、ご質問等ありますか。

(門馬委員) 8ページに実施期日、年2回程度を実施する、前期1回、後期1回、程度とありますが、程度ということは年2回、3回、または学校によっては1回ということはないのですか。2回以上ということですか。

(照山指導担当参事) 実施回数におきましては、現在、校長会と意見交換を行っておりますが、まずは年2回(日)を目処に取り組みたいと考えております。

(松尾委員) いま門馬委員が質問された8ページの3～4行目のところで、市内小中学校において土曜授業を実施できるものとすると思いますが、実施するかしないかは各学校の判断という理解でいいのですか。

(照山指導担当参事) 土曜授業を実施するかしないかは、各学校の学校長が、教育課程を編成する中で実施の判断をするということになります。

(門馬委員) 8ページの「(2) 日課及び対応」のところで、教職員は通常勤務とする、週休日の振替は学校ごと適宜設定するとなっておりますが、子ども達は午前中、授業が終わった後は帰宅をし、先生方は残って1日の業務とする。振替日というのは、先生方はどのように具体的に休業日を設ける予定なのかということと、「(3) 土曜授業の内容」について、各学校が特色ある取組を行うことを基本とすると思いますが、今まで通常の時間割のなかで行っていた学校独自の特色ある取組を今度は土曜日に行うということですか。

(佐々木学校教育課長) 私から教職員の週休日の振替についてお答えします。基本的には土曜授業を行う場合、前4週、後8週で振替を取っていただくという形になっていますが、子ども達は振替休業がないなかで、学校によっては先生方が振替を取れない場合もあろうかと思えます、その場合に関しては、道の特例によりまして、長期休業日に振替を充てることになっていると思います。

(照山指導担当参事) 特色ある取組を行うことを基本とするということについては、結論から申し上げますと、学校の裁量により多様な使い方が可能と考えております。これまで行ってきております土曜参観日にも使えますし、外部人材を活用した授業も含まれます。特色ある取組の使い方にこだわってしまうと、土曜日にどうしても入れられないという場合も出てきますので、そういった場合は通常授業も可能ということで考えております。

(門馬委員) わかりました。

(鎌田教育長) 他にございませんか。

質問なし

(鎌田教育長) 他に質問等がないようですので、報告事項③を了解ということでよろしいでしょうか。

異議なし

(鎌田教育長) ご異議なしと認め、報告事項③を了解しました。

報告事項④ 学校の閉庁日について

(鎌田教育長) 次に、報告事項の④「学校閉庁日の設定について」、事務局より説明をお願いします。

(佐々木学校教育課長) 私から「学校閉庁日の設定について」ご説明いたします。教職員の多忙化が社会問題化している中、学校閉庁日の実施については、今年8月に中教審が出した「学校における働き方改革に係る緊急提言」にも盛り込まれているところです。市教委としましては、この学校閉庁日を実施することにより、教職員が安心して休暇を取得できる体制を整え、心身の健康増進と休暇取得の促進を図ることを目的として、各学校に学校閉庁日を設定していただくよう依頼するものです。閉庁日の教職員のサービスは、年次有給休暇の取得や週休日の振替など職員の実情に合わせた取扱いとなりますが、例えば業務多忙のため土曜授業の振替が取得できないような場合は、この閉庁日に振替を充てるのが可能となります。閉庁日の期間は、夏期及び冬期休業中となりますが、詳細については、今後、校長会と調整を行いながら取り進めていきたいと考えております。

(鎌田教育長) 参考までに、すでに札幌市が今年の夏から導入しまして、1日から3日間、任意で学校で選ぶということでしたが、大半の学校が3日間の閉庁を実施したようです。

(鎌田教育長) ただ今、事務局より説明がありましたが、この件について、ご質問等ありませんか。

質問なし

(鎌田教育長) 他に質問等がないようですので、報告事項④を了解ということでよろしいでしょうか。

異議なし

(鎌田教育長) ご異議なしと認め、報告事項④を了解しました。以上で、日程第5 報告事項を終了します。

日程第6 その他

(鎌田教育長) 日程第6 その他を議題とします。教育委員の皆さんから何かございませんか。

意見なし

(鎌田教育長) 無ければ以上で、日程第6 その他を終了します。

日程第7 次回会議の開催日程について

(鎌田教育長) それでは、日程第7 次回会議の開催日程を議題といたします。次回につきましては、12月26日の火曜日、13時30分からの開催を予定しておりますので、宜しくお願い申し上げたいと思います。以上をもちまして公開案件は終了致しました。非公開案件の説明員以外の方についてはご退席をお願い致します。

【非公開案件の審議等】
14時21分～15時00分

閉会宣告

(鎌田教育長) 以上をもって、11月定例会の案件は全て終了いたしました。
これもちまして、平成29年度教育委員会会議11月定例会を閉会します。

閉会 15時02分

【非公開案件の審議等の結果】

議案第1号 平成29年度一般会計予算（第7号補正）について

原案どおり可決した。(質疑等省略)

議案第2号 指定管理者の指定の件について

原案どおり可決した。(質疑等省略)

協議事項① 平成30年度教育委員会予算要求について

事務局からの説明について、了解した。(質疑等省略)

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成29年12月26日

教育長 鎌田英暢

署名委員 永山隆繁